

2022年度 専門学校ESPエンタテインメント東京
学校関係者評価 報告書

評価対象期間 自：2022年4月 1日
至：2023年3月31日

2023年5月
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員名簿

学校関係者評価委員として、卒業生、関係業界、関係団体、本校と直接接統する学校、在校生保護者、地域（近隣）企業に委嘱した。

本学園総務部長		村本 英之
業界関係者	FINE TREE 株式会社	福原 善勝 様
高校、日本語学校等	新宿日本語学校	江副 カネル隆二 様
近隣商工会、町内会、企業等	株式会社竹宝商会	佐渡 文浩 様
学園卒業生	株式会社イー・エス・ピー	目黒 良輔 様
在校生保護者		毛海 由里子 様

学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者評価委員会実施日時・場所

日時：2022年5月19日（金） 15：30～17：30

場所：専門学校ESPエンタテインメント東京 本館会議室

評価方法

学校関係者評価委員の方々に、学校関係者評価の概要や学校自己評価報告書を事お示しし、2022年度自己評価報告書の項目に沿って、評価シートへご記入いただく形式でご質問、ご意見をいただいた。

報告書

いただいたご意見等を総務部長以下職員で組織する自己評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめた。

学校関係者評価委員会 進行状況

開始 15：30～

- ① 開会・資料確認
- ② 委員長あいさつ
- ③ 出席教職員の紹介
- ④ 評価委員のご紹介
- ⑤ 評価シートの書き方説明
- ⑥ 自己点検・評価報告書についての説明
 - ・大項目Ⅰ～Ⅳ
 - ・休憩…10分程度
 - ・大項目Ⅴ～Ⅹ
- ⑦ 評価シートの最終確認、ご提出
- ⑧ 次回開催の確認
- ⑨ 閉会

今後の取り組み

ご意見は、次年度以降の教育計画、教育課程編成、事業計画、施設・設備計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組む。また、学校評価事業は毎年度、継続していく。

点検項目

大項目	I 教育理念・目的・育成人材像	
自己評価に対する評価	適切…5/5	不適切…0/5

ご意見

- ・業界のマナーも大切だが、もっと根本的・基本的なマナー等も必要。入社後に「若いから」では済まないこともある。
- ・今後、生徒の人数を増やし、設備の増加をお願いしたいと思います。また、現場の人手不足もありますので、プラスαの知識・技能の教育もお願いします。
- ・学生を見ていると礼儀作法に対する認識がまだまだ弱く感じる場合があります。
また最低限の専門技量、知識といった事が年々高い水準が求められる(底上げされている)と感じており、その背景にはある程度の知識はネットで収集出来る&AI で可能になっているので、やはり人間性の面の価値を明確にし、より強化出来るカリキュラムの打ち出しが強くあっても良いと感じました。

大項目	II 学校運営	
自己評価に対する評価	適切…5/5	不適切…0/5

ご意見

- ・コロナが明けつつある中、中長期計画は手探り状態かと思います。状況に応じて適切に対応してください。
- ・2-11 に関して、評価は適切かと思いますが、学籍管理システム以外に、他の取組も記入した方が良いかと思います。
→他に日々の業務につきましては、サイボウズというシステムを導入しており、適宜情報共有が可能な体制としています。また、計画立案や上申といったものも同システム上で完結できるようになっており、電子ベースで業務が進行するように図っております。

大項目	Ⅲ 教育活動	
自己評価に対する評価	適切…5/5	不適切…0/5

ご意見

- ・最新のものでないといけないということは無いが、やはり最新のものにニーズがある場合には対応しなければいけません。
- ・全体的な評価は適切であるかと思いますが、出来れば自己評価の中で不適切とした項目に対して、今後の取り組みなどを書いた方が良いかと思います。
- ・外部講師への簡単な共通評価・フィードバックがあると良いと思います。
変化が早い教育現場ですので、ご苦労されていると思いますが、生徒にとって良い方向性で進んで頂ければと思います。
- ・継続して外部オーディション情報の提供と共に、内部でオーディションイベントなど企画し、外部企業を呼び率先したパイプ作りが更にあって良いと感じました。
また、より質の良い授業を提供するにあたり現場の声として教員側と運営側と意志疎通の時間をより多く取れると良いと感じます。
講師側もあぐらをかかないよう先端の知識を共有するなどの意味も含みます。

大項目	Ⅳ 学習成果	
自己評価に対する評価	適切…5/5	不適切…0/5

ご意見

- ・自分ではキャリアサポートセクションを利用したことがないので、今の学生にはどんどん利用して欲しい。
- ・社会人として確りとした人を育成してほしい。
- ・項目3に記載した内容と同じですが、自己評価の中で不適切とした項目に対して、今後の取り組みなどを書いた方が良いかと思います。
- ・就職率の向上においてはやはり学生本人の意思が重要となってきますので、サポートと同時に根本的な学生一人一人のやる気となる部分を継続して呼び起こせるかは重要と考えます。
交流については卒業生対象の同窓会などイベントがあっても面白いかと感じました。

大項目	V 学生支援	
自己評価に対する評価	適切…5/5	不適切…0/5

ご意見

- ・保護者会はオンラインで開催できるかと思います。
 - ・学校医は委託でよければ、問題ないと思います。
 - ・生徒の心理面のサポートをお願いしている外部との連携を強化してほしいです。
 - ・小・中学校ではないので、保護者会は不要だと思います。今の対応でよろしいと思います。
 - ・心理面のケア・気軽な相談等、思っているより充実している。
 - ・留学生を含め、相談できる仕組みがあるのは良いと思う。
 - ・どの仕事においても精神面が安定しているかは重要かと思いますが、精神が病んでる人に悩みを聞いたところでそのまま話すケースが少ないようにも感じており、根本的な精神面を鍛える授業プログラムなど積極的に取り入れても良いと感じました。
- スポーツ関係やフィットネスジム関係の事業では率先して運動、食育などサポートしておりますが音楽も例外ではないと考えます。
- ※本件とは離れますが、健康面の一環として社内食堂に強化している企業も年々増えている印象で外部の好感度も高いと感じます。

大項目	VI 教育環境	
自己評価に対する評価	適切…5/5	不適切…0/5

ご意見

- ・最近地震も多いので、防災マニュアルの作成をいつまでに完成させるのか、明記してほしいです。
- ・学生を預かる場所として防災、防犯は急いでやって欲しい。
- ・正式版の作成は早めをお願いします。
- ・防犯も早めの対応をお願いします。
- ・可能であれば年に一度くらい防災訓練や避難経路の確認などがあってもよいと感じました。

大項目	Ⅶ 学生の募集と受入れ	
自己評価に対する評価	適切…5/5	不適切…0/5

ご意見

- ・学生募集にあたり年々入学者数が減っていると感じますが、例えば作曲といった制作ではネットである程度のことが無料で学べる時代かつ AI で基本的なことができる時代ですので、専門学校に入る意味の価値観が年々変化していると感じます。
簡単に情報が入る反面、楽器の習得に何年も要するといったことが敬遠される風潮もあり、より短結に専門分野が学べるといったことを魅力として伝えられるかがポイントになってくるかと感じます。「専門学校でしか学べないこと」をより明確に打ち出す必要があると感じます。
- ・生徒を増やすため、年1回の入学を年2回にする、通信教育をする等の入学の幅を広げてはどうでしょう。

大項目	Ⅷ 財務	
自己評価に対する評価	適切…5/5	不適切…0/5

ご意見

- ・今後ニーズに合わせて配信関係への設備投資など必要かと感じましたが、時代を先取るような機材がある学校というのはやはり魅力を感じます。

大項目	Ⅸ 法令等の遵守	
自己評価に対する評価	適切…5/5	不適切…0/5

ご意見

- ・法令は適切に守られているかと思います。
- ・適切であり、問題ございません。

大項目	X 社会貢献・地域貢献	
自己評価に対する評価	適切…5/5	不適切…0/5

ご意見

- ・ボランティアまでいかなくとも、例えばギターなら木材について考える時間、こういった経緯で木材が作られてどのくらい時間がかかってなど知る事は大切だと考えます。限りある資源を考えイベントとして植樹したりするのも良いかと思います。
- ・引き続き町内、地域のイベントへのご協力をお願いします。他に地元の警察や消防などにもご協力されてはどうでしょうか。
- ・社会貢献などの項目が自己評価で不適切にされていたことが残念かと思いますが、改善の余地があると思います。

他ご意見

- ・コロナ禍が明けて状態変化の対応に苦勞されていると思いますが、生徒の為に頑張って取り組んでください。

総合的な評価結果（本校の教育目標、重点目標、自己評価の総括）に
対して

…特にご意見等はございませんでした。

ご質問

- ・最近のニーズの変化について、どのように変化しつつありますか？

→今までは最低限の知識・技術に加えて、「元気」「やる気」「コミュニケーション能力」等が重要視されてきましたが、今ではどの現場でもある程度活躍できるだけの総合力に加え、その中でも自身が専攻した分野に関して特化した知識・技能を備えた人材が求められております。

現状、各科各コースのカリキュラムは専門的な知識・技能のみならず、関連業務に関するものも組み込まれており、問題は無いという認識です。

また、コロナ禍では上記に加えてP C、映像、編集、配信等に関する技能が求められて、おりましたが、コロナ禍が明けつつある現状では、今まで自粛されていたイベント関係が活性化し、コロナ禍前に戻ることが予想されております。

- ・無停電装置、システムのバックアップ等の設備はありますか？

→学校設置のサーバーや、部署ごとに所有するN A SなどにU P Sを設置しております。システムのバックアップは校舎内にサーバーを設置し、常に備えております。また、学籍管理システムにつきましては、クラウド上で保存されており、物理的なリスクは無い体制を敷いております。

総括

様々なご意見をいただき、現段階では緊急で対処しなければならない事案として、防災マニュアル、防犯マニュアルは正式版を至急整備しなければならず、今年度中の出来る限り早い時期に整備し、教職員、学生全員に周知するようにいたしますが、それまでは既存のマニュアルに沿って学生の安全を図ります。

また、自己評価で適切以外の事項につきましては、適宜問題点を洗い出し、対応について検討を行って参ります。

今回いただいたご意見を参考にさせていただきながら、今後も学生にとってより授業が受けられるよう環境整備に精進してまいります。

既にコロナ禍が明けてきた状況であり、コロナ禍を原因とした諸問題は解決することとなります。より一層の努力を続け、今回あげられた課題に関しましては、今後の運営、教育活動等にしっかりとフィードバックし、教職員一同取り組んでいく所存です。

専門学校ESPエンタテインメント東京がより良い学園と成長するために、今後とも様々なご意見いただければ幸いです。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

以上



学校法人イーエスピー学園

ESPエンタテインメント東京

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-19